

# 中臣氏と「砥鹿の神砂」

初穂料 一〇〇円

神主の始祖の一氏族である中臣氏は、あめのこやねのみこと天児屋根命を祖神と仰ぎ、ひもろぎ神籬を中心とする古代祭祀を司り、罪穢れを祓いやる行法を確立しました。

天児屋根命をお祀りする末社八幡宮の透塀より垣間見る盛砂は神を招きよせる神籬を模したもので、砥鹿神社の神砂はここから採取しております。

この神気籠る砥鹿の神砂で、身の回りを清めコロナウイルス禍以前の活力ある生活を取り戻しましょう。

## お清めの例

- 住宅・会社等の建造物を建てる時や取り壊す時、また改修する時。
- 庭木、樹木を伐採する時。
- 入居または、入所する時や開店、開業、開所等、新しく事を始める時。
- 住まい、仕事場あるいは所有地、所有物や身体で、穢、不浄が気になる時。
- 方位除けや鬼門除けをする時。



## 神砂の撒き方

- 一、 神社から受けた神砂を容器（底の浅い器・皿など）に移します。
- 二、 移した容器を両手で持ちお清めをする場所の正面に立ち一礼（軽くお辞儀）をします。
- 三、 神砂は撒く人を中心にして、左・右・左と三回に分け撒き、終りに一礼をします。

※撒き方は、神砂の容器を左手で持ち右手の指で神砂をつまみ持ち、撒きます。  
 ※神砂の量は一カ所に一袋ぐらい撒く事を目安としてください。

## 神砂を撒く場所

- 一、 土地など広い場所を清める場合は、左図の四隅と中央を番号順に清めます。①東北（良うしとらー表鬼門）②東南（巽 たつみ）③西南（坤 ひつじさるー裏鬼門）④北西（乾 いぬい）、①〜④は中央を背にして外向き、⑤は最後に南を背にして中央、または玄関に向き撒きます。
- 二、 マンション等、室内で直接神砂を撒けない場合は、左図の様に四隅に紙を敷き①〜④へ神砂をお山のように盛り十日間位おいておきます。期間が過ぎましたら神砂は近くの土に返してください。
- 三、 自動車の場合は、左図の様に四輪のタイヤにふりかけてください。
- 四、 狭い場所は、外から内に向かって神砂を左右左と撒くか、一カ所に神砂を盛っておくとよいです。
- 五、 病床を清める場合は、神砂を紙・ビニール等でくるみ、ふとんの下に入れてください。

